

くらサポ

ニュース^{NO.}120



くらしサポーター
交流会(熊谷市)



2024/10/1

8/27(火)、熊谷生協病院でくらサポ交流会を開催しました。コーディネーター、サポーター、職員など11人が参加しました。事例の紹介や体験談、グループでおしゃべりタイム、職員によるミニ学習をしました。



参加者からの声

- ・自分自身が体調を崩し、くらサポにお世話になった。少し元気になったので、今度は自分もサポーターになりたいと思いサポーター登録しました。
- ・今年も参加しました。サポーターとしての出番はまだありません。いつか自分自身がお世話になることがあるかもしれないので、今日は皆さんに会えてよかったです。



最近の事例紹介



利用者さんから、自宅敷地内にある納屋の掃除と片づけをしてほしいという依頼がありました。利用者さんは体調がすぐれず、サポーターさんにお手伝いしてもらい助かったとのことでした。後日、ご家族からもお礼の電話を頂き、励みになりました。



(羽生市 70代)



利用者さんから電球交換してほしいという依頼がありました。数カ所の交換が必要でサポーターさんが取り付け箇所を確認し、電球を購入して交換しました。

しばらく家の中が暗い状態だったため、電気がついた時は、拍手をして喜んでくれました。

(飯能市 70代)

コーディネーター リレートーク (第21回)

行田市
座間 文子さん



コーディネーターの活動を始めて5カ月がたちました。1件の依頼に対して、利用者さん宅に訪問し依頼内容を確認したり、サポーターさんとの顔合わせなどをするため、2~3回の打合せを行うこともあります。

最近、ゴミ出しの依頼がありました。利用者さん宅の付近に駐車場がなく、サポーターさんが駐車するスペースの確保に苦労しました。また、長期にわたるサポートは、2人体制で行えるよう工夫もしています。思いのほか依頼があり、日々奮闘しています。

くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692